

いきいき輝く三和の子 やさしく かしく たくましく



三和小学校通信 令和4年1月17日（月）No.32

資源回収延期、大変ご迷惑をおかけしました

16日、高知県に津波注意報並びに本校校区にあたる南国市の海沿いや河口付近に避難指示が出されたため、資源回収を延期とさせて頂きました。気象庁の会見でも「潮位変化の理由が明らかでないため、今後、津波注意報が津波警報に変わる可能性がある」という内容があり、止むを得ず今回の決定とさせて頂きました。

保護者の皆様へのご連絡が遅くなったこと、また地区によっては地域の方へのお知らせのお願いが遅くなったことにより、保護者の皆様には多くのお世話をおかけすることになってしまいました。申し訳ございません。資源を回収してくださったり、地域の方にお伝えくださったりと本当にお手数をおかけしました。ご協力頂き深く感謝申し上げます。また、一度出してくださった資源を戻してくださった地域の方にも、ご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。今回の反省を活かし、資源回収の中止条件や地域の方への素早い連絡方法について、検討・協議し改善を図りたいと思います。23日の資源回収では、またお世話をおかけしますが、ご協力頂きますようお願い申し上げます。（資源回収に関しては別にお便りが出ますので、ご確認ください。）

プログラミング学習に取り組みました～

1月12日、6年生がプログラミングを学習しました。教材を用いて「暗くなったら豆電球がつく→明るくなったら豆電球が消える」等の指令をプログラミングで作り、実験しました。実際に日常生活でも目にする内容なので、6年生の理解も早く、次々にいろいろなプログラムを作っていました。前日に予習として教員もやっていたのですが、子どもたちの操作の早さに驚いたことです。

令和3年度は、タブレットを日常的に授業で使用するようになり、ICT教育が飛躍的に進みました。あくまでも、タブレットやパソコンは「学習用具」なのですが、プログラミング学習のように「論理的に考える」ことも、ICT教育で効果的に行っていきたいと考えています。

「冬休みの思い出」をタブレットで発表し合った学年もあります。どんな使い方を学校でしているのか、ぜひご家庭で話題にされてみてください。

6年生の振り返りより

- ・プログラミングはあまりやったことがないので、初めて考えてセットしていくのはとても大変だった。プログラミングを使うことで生活を便利にしたり電気を節約したりすることができると分かった。
- ・プログラミングは電力を節約するほかに人々の役に立つようなものだということが分かった。
- ・プログラミングの仕組みについていろいろ分かった。人を感知しただけで明るくなったりする所とかたくさんあるので、その仕組みはこうやってできているんだなと思った。プログラミングでどういう事ができるのかもよく分かった。